
東海教育オーディオロジー研究協議会
第15回夏期講習会のご案内(参加要項第2報)

後援 東海地区聾学校長会

1. 期 日 平成30年8月5日(日) 9:40~16:35 (初級講座、共通講座)
8月6日(月) 9:10~16:00

2. 会 場 8月5日(日) 愛知県立千種聾学校
(名古屋市千種区若水二丁目5番1号)
8月6日(月) 名古屋市総合社会福祉会館
(名古屋市北区清水4丁目17-1)

3. 内 容 講演会及び少人数編成で選択制の講習会
※ 教育オーディオロジーの基礎的な内容及び中級的な内容を扱います。

4. 定 員 平成30年8月5日(日) 40名 (基礎講座8名)
8月6日(月) 100名
(両日とも先着順とし、定員を超えた場合は会員を優先します。)

5 受講費用

	会 員	会員外
8月5日(1日目)	1,000円	2,000円
8月6日(2日目)	2,000円	3,000円

6. 参加申込み

申込み締切日 7月20日(金)

参加希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、メールまたはFAXで申込んでください。

申込先 東海教育オーディオロジー研究協議会事務局(愛知県立千種聾学校内) 筒井秀俊

メールアドレス [toukai_ed_aud\[at\]yahoo\[dot\]co\[dot\]jp](mailto:toukai_ed_aud@yahoo.co.jp)

*迷惑メール防止のため、[@]は[at]、[.]は[dot]に代えて表記してあります。

FAX 052-723-6824

HPアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~tokai/>

※ 電話での申込みや問合せはご遠慮ください。

7. その他

昼食は各自ご用意ください。

情報保障(手話通訳)が必要な方は、申込みの際にお申し付けください。

8. 日 程

8月5日(日) (二日目) 愛知県立千種聾学校 初級講座	09:20～09:40	受付		
	09:40～09:45	オリエンテーション		
	09:50～11:10	初級講座		
		聞こえるってどんなこと ー聴覚の心理・生理ー 〔講義〕 小川・松森・石田	授業づくり 〔講義〕 一宮聾学校 上田 桂子 先生	発語発音指導の基礎 〔講義・実習〕 岡崎聾学校 佐々木 繁 先生
	11:20～12:40	基礎講座 (定員8名) 大橋・原田	補聴器の特性と 調整の基礎 〔講義・実習〕 荒井	発語発音指導Q&A 〔講義・実習〕 岡崎聾学校 佐々木 繁 先生
		(1) 聴力検査の方法と オーディオグラムの見方 〔講義・実習〕		
	12:40～13:40	昼 食		
	13:40～15:00	(2) 補聴器について 〔講義・実習〕	補聴器の機能を知ろう 〔講義〕 吉村	担任が知っておきたいこと (人工内耳の保守管理等) 〔講義〕 石田
	15:10～16:30	中学部・高等部の自立活動 〔講義〕 小岩め・高田	聴覚障害乳幼児の 健やかな成長のために 〔講義〕 服部	担任が知っておきたいこと (補聴器の保守管理・ 福祉制度等) 〔講義〕 筒井
	16:30～16:35	事務連絡等		
8月6日(月) (二日目) 名古屋市総合社会福祉会館	09:00～09:30	受付・オリエンテーション他		
	09:30～10:30	聾学校通級指導の実際 ー小中学校に在籍する 難聴児への支援ー 〔講義〕 岡崎聾学校 大西 英夫 先生	人工内耳Q&A 〔講義〕 愛知淑徳大学 井脇 貴子 先生	補聴器の調整 (補聴器の調整をしてみよう) 〔講義・実習〕 定員15名 理研産業
	10:40～11:40	発達障害と聞こえの困難 〔講義〕 小川	人工内耳の現状 〔講義〕 愛知淑徳大学 井脇 貴子 先生	補聴支援機器 〔講義・体験〕 理研産業
	11:40～12:40	※機器展示		
	12:40～12:50	総 会		
	12:50～16:00 (途中休憩10分)	講演 講演会 司会：松森 「発音・発語学習から見える子どもの姿～子どもの思考を大切に～」 講師 慶應義塾大学 政策・メディア研究科 木村 淳子 先生		
	16:00	閉 会		

9. 選択制講習会概要

講座名		担当者	講座内容
8月5日(日) 初級 愛知県立千種聾学校 初級講座	聞こえるって どんなこと? ー聴覚の心理・生理ー	小川 松森 石田	「聞こえるってどんなこと」と、皆さんは考えたことがありますか? 「聞こえないということ」を知るためには、「聞こえる」ということを考え理解することが大切です。「内耳」の仕組みや働き、騒音の中でも会話ができる仕組みなど知っているようでも意外と知らないことを、一緒に学びませんか?
	授業づくり	上田	子どもたちが幼稚園で培ってきた豊かな生活力や言語力を、小学部はきちんと受け取り、中学部に確かな学力を身に付けて渡すことが、小学部教育の目標の一つです。確かな学力とは思考力に支えられています。このねらいに迫っていくために、授業における基礎基本を確認し、理科や社会や国語を取り上げて具体的な授業展開について、問題提起します。
	発語発音指導の基礎	佐々木	2コマを三分割し、①発語発音指導のための基礎知識、②「おねがいします」を例に、具体的な指導内容、③Q&Aの内容を行います。前半のみ後半のみの参加でも結構です。申込用紙への質問は、後半で回答します。 〈持ち物〉赤、青、黄の色鉛筆 〈参考資料〉「生活の中で発語発音指導をしてみませんか」、「学童発音学習」佐々木繁著
	発語発音指導の基礎 Q&A		
	補聴器の特性と調整の基礎	荒井	補聴器のフィッティングの基本的な考え方、デジタル補聴器のファーストフィット後の調整の仕方、子どもの「きこえ」に合わせたフィッティングについて解説します。
	補聴器の機能を知ろう	吉村	補聴器には、きこえやすくするための機能がいろいろあります。指向性マイクや騒音抑制機能など、補聴器の機能について、担任の先生に知っているほしい機能と、その限界についてお話しします。
	担任が知っておきたいこと (人工内耳の保守管理等)	石田	聾学校・地域の学校で人工内耳を装着して過ごす子どもが増えています。そこで、マッピングレポートの見方や人工内耳にかかわる福祉制度について知ったり、日常で気になっている点を共有したりすることを通して、教員として気を付けられることや保守管理について考えてみたいと思います。
	中学部・高等部の自立活動	小岩め 高田	「社会自立に向けた障害認識」を柱に、自立活動の事例紹介、協議をします。聴覚活用と自分の聞こえに対して気付きがある年齢の生徒にどのような指導ができるのか。口頭で構いませんので事例や指導の悩みなど、皆さんで持ち寄り話し合ったり、考えたりしたいと思います。
	聴覚障害乳幼児の健全な成長のために	服部	乳幼児教育相談を担当して「小さいときが大事」と実感しています。日々の気づきや、心がけていることなどについてお話しします。教育相談を担当している方、担当したいと思っている方集合です。
	担任が知っておきたいこと(補聴器の保守管理・福祉制度等)	筒井	担任として知っておきたい補聴器の基礎知識と福祉制度についてお話しします。補聴器の日常の保守管理を中心に、補聴器の申請手順等の福祉制度についても学びます。
基礎講座 (1)聴力検査の方法と オーディオメーターの見方 (2)補聴器について (講義・実習)	大橋 原田	聴力検査の方法やその結果の見方、補聴器に関する基礎的内容を学びます。実際にオーディオメーターに触れての聴力検査、補聴器の試聴もします。聴力検査を一度もしたことがない、補聴器にほとんど触ったことがないという人を対象にしています。 ※原則として(1)、(2)を続けて受講してください。	
8月6日(月) 二日目 名古屋市長合福祉会館	聾学校通級指導の実際 ー小中学校に在籍する 難聴児への支援ー	大西	今まで担当してきた通級指導の実践の中から、①児童生徒への支援、②在籍校教員への支援、③保護者支援を中心に話したいと思います。また、④地域支援、⑤進路支援についても触れたいと考えています。
	人工内耳Q&A	井脇	人工内耳について基本的なことの質問や具体的なケースについての相談など、参加者の皆さんからの話題提供をお待ちしています。一緒に考えていきましょう。
	補聴器の調整 (補聴器調整をしてみよう)	補聴器 販売専門店	フォナック小児専用耳かけ型「スカイ」を使用し、フィッティングソフトをPCで操作しながら調整します。パソコン一台あたり2~3人で実習します。
	人工内耳の現状	井脇	人工内耳の両耳装用を中心に、人工内耳のホットな情報をお伝えします。
	発達障害ときこえの困難	小川	会話を聞き取り理解することの困難は、難聴を有する子どもだけではないことが広く知られるようになってきました。この講座では、自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの発達障害を有する子どもたちが抱える「きこえの困難」について、事例の紹介を交えながらお話しします。
補聴支援機器	補聴器販売 専門店 事務局員	フォナック「ロジャータッチスクリーンマイク」を使いながら最新の機能について話をし、試聴します。ロジャーと同様の2.4ギガヘルツを使ったGNリサウンド「マルチマイク(ミニマイク)」の試聴も予定しています。	

10. 講師

【講師】

- 木村 淳子 先生（慶應義塾大学 政策メディア研究科）
- 井脇 貴子 先生（愛知淑徳大学）
- 佐々木 繁 先生（愛知県立岡崎聾学校）
- 上田 桂子 先生（愛知県立一宮聾学校）
- 大西 英夫 先生（愛知県立岡崎聾学校）

【講師兼スタッフ】

- 筒井 秀俊（愛知県立千種聾学校） 大橋 さとみ（愛知県立千種聾学校）
- 吉村 雄太（愛知県立千種聾学校） 服部真由美（愛知県立千種聾学校）
- 原田 知美（愛知県立岡崎聾学校） 荒井 麻里（愛知県立一宮聾学校）
- 小岩 めぐみ（愛知県立名古屋聾学校） 高田 直子（愛知県立名古屋聾学校）
- 松森久美子（東海学院大学） 石田 彩
- 小川 征利（岐阜県立揖斐特別支援学校）

11. 会場案内

○8月5日(日) 愛知県立千種聾学校

- 名古屋市千種区若水二丁目5番1号
- TEL 052-711-4121 FAX 052-723-6824
- ・JR名古屋駅から地下鉄東山線で「池下」下車北へ800m
（「池下」で下車の場合、地下鉄は1番出口を出ると便利です。）

○8月6日(月) 名古屋市総合社会福祉会館

- 名古屋市北区清水4丁目17-1
- TEL 052-911-3191 FAX 052-917-0702
- ・地下鉄黒川駅徒歩5分

※ 千種聾学校、名古屋市総合福祉会館のホームページで
地図をご確認ください。



東海教育オーディオロジー研究協議会 第15回講習会参加申込書

氏名	所属
※ 所属には、担当の部、乳幼児教育相談、通級担当、難聴学級等もお書きください。	
該当のところに○印をご記入ください。	
※ 東海教育オーディオロジー研究協議会 会員()、非会員()	
※ 情報保障(手話通訳)希望 ()	
※ ()8月5日(日)参加 ()8月6日(月)参加 ()両日とも参加	

入会を希望される方は、会員に○を付けていただき、申込みの際に入会手続きをしてください。

受講可否や講座選択の調整のために連絡させていただくことがありますので、連絡が取れるメールアドレス（携帯メール不可）を必ずご記入ください。

希望する連絡先・連絡方法（自宅・勤務先）	○でかこんでください。
住所 〒	
(TEL・FAX・E-mail)	

- ◎ 少人数選択制です。受講を希望する講座 第1希望、第2希望をそれぞれ①②とご記入ください。
- ◎ 一日目の基礎講座は、一日通しての講座です。他の講座との併用はできません。基礎講座を希望される方は、基礎講座を第1希望とし、他の講座から第2希望を選択してください。
- ◎ 発音発語、人工内耳の講座を選択希望された方で、講師の先生方に取り上げていただきたい質問がありましたら、該当する講座の方の()に○を付け、ご自由に欄内にご記入ください。

		聞こえるってどんなこと? -聴覚の心理・生理-	授業づくり	発語発音指導の基礎
8月5日(日)(二日目)	11:20~12:40	基礎講座 ()	補聴器の特性と調整の基礎 ()	発語発音指導Q & A ()
	13:40~15:00	(1) 聴力検査の方法と オーディオグラムの見方 (2) 補聴器について	補聴器の機能を知ろう ()	担任が知っておきたいこと (人工内耳の保守管理等) ()
	15:10~16:30	中学部・高等部の自立活動 ()	聴覚障害乳幼児の 健やかな成長のために ()	担任が知っておきたいこと (補聴器の保守管理 ・福祉制度等) ()
8月6日(月)(一日目)	09:30~10:30	聾学校通級指導の実際 -小中学校に在籍する 難聴児への支援- ()	人工内耳Q & A ()	補聴器の調整 (補聴器の調整をしてみよう) ()
	10:40~11:40	発達障害と聞こえの困難 ()	人工内耳の現状 ()	補聴支援機器 ()
	12:50~16:00 (途中休憩10分)	「発音・発語学習から見える子どもの姿～子どもの思考を大切に～」 講師 慶應義塾大学 政策・メディア研究科 木村 淳子 先生 () ←参加される方は○、不参加は×を記入してください。		
発音発語Q & A () 人工内耳Q & A () 質問事項をお書きください				

申込書はコピーなどの控えを取ってください。

